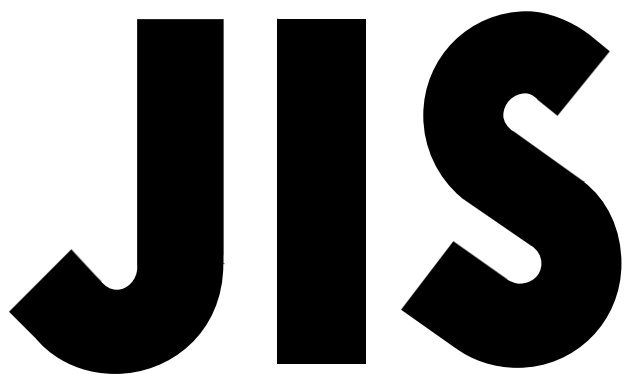




建築材料の吸放湿性試験方法一 第 1 部：湿度応答法

JIS A 1470-1：2014

(JTCCM/JSA)

平成 26 年 12 月 22 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	伊 藤 弘	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
(委員)	内 山 和 哉	一般社団法人住宅生産団体連合会（積水ハウス株式会社）
	加 藤 信 介	東京大学
	橘 高 義 典	首都大学東京
	黒 木 勝 一	一般財団法人建材試験センター
	棚 野 博 之	独立行政法人建築研究所
	谷 口 元	一般社団法人日本建設業連合会（株式会社竹中工務店）
	西 野 加奈子	建築・住宅国際機構
	服 部 幸 夫	断熱・保温規格協議会
	羽 山 眞 一	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	藤 野 珠 枝	主婦連合会（藤野アトリエ一級建築士事務所）
	古 江 郁 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	松 村 収	独立行政法人住宅金融支援機構
	本 橋 健 司	一般社団法人日本建築学会（芝浦工業大学）

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 14.8.20 改正：平成 26.12.22

官 報 公 示：平成 26.12.22

原 案 作 成 者：一般財団法人建材試験センター

（〒340-0015 埼玉県草加市高砂 2-9-2 アコス北館 N ビル TEL 048-920-3814）

一般財団法人日本規格協会

（〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会（部会長 酒井 信介）

審議専門委員会：建築技術専門委員会（委員長 伊藤 弘）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語, 記号及び単位	1
3.1 用語及び定義	1
3.2 記号及び単位	2
4 試験体	3
5 試験装置	3
6 試験体表面湿気伝達抵抗の設定	4
7 吸放湿性試験方法	4
8 結果の算出	5
9 報告	7
附属書 A (規定) 試験体表面湿気伝達抵抗の測定方法	8
附属書 B (参考) その他の試験装置の構成及び試験手順	10
附属書 C (参考) 湿気浸透率の計算方法	13
附属書 JA (規定) 周期定常吸放湿試験	16
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	18
附属書 JC (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	26
解 説	35

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般財団法人建材試験センター（JTCCM）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS A 1470-1:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS A 1470 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS A 1470-1 第 1 部：湿度応答法

JIS A 1470-2 第 2 部：温度応答法

建築材料の吸放湿性試験方法—第 1 部：湿度応答法

Determination of water vapour adsorption/desorption properties for building materials—Part 1: Response to humidity variation

序文

この規格は、2008 年に第 1 版として発行された **ISO 24353** を基とし、国内の実情を反映させるため、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JB** に示す。また、技術上重要な改正に関する旧規格との対照を**附属書 JC** に示す。

1 適用範囲

この規格は、主として内装材などの湿度変動による建築材料の 1 日周期（12 時間吸湿，12 時間放湿） における吸放湿性の試験方法について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 24353:2008, Hygrothermal performance of building materials and products—Determination of moisture adsorption/desorption properties in response to humidity variation (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 0202 断熱用語

JIS A 1324 建築材料の透湿性測定方法

JIS Z 8704 温度測定方法—電気的方法

JIS Z 8806 湿度—測定方法

3 用語、記号及び単位

3.1 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS A 0202** によるほか、次による。

3.1.1

吸放湿性 (water vapour adsorption/desorption property)

材料がもつ吸湿量及び吸湿速度並びに放湿量及び放湿速度の性能。